



## [Ez-SR-MAXIMA]

製作文／イシバシ・ダイゴ(SRSC)

プラモデル部こそないものの  
数々のロボットコンテストで優勝、  
ガンプラバトル選手権でも優勝候補の一  
角に名を連ねる強豪チーム、都立成練高専のSRSC。  
今回は彼らの新作が本誌でお披露目だ。毎試合ガンプラを変え  
てきたのがSRSCの特徴だが、この姿には既視感を覚えざるを得ない。その理由とは……？



チームSRSCの力を集約したマキシマ。この体は1対1の戦いのみを想定しているわけではなく、バトルロイヤルなどの1対“多”的状況に対応可能なガンプラとして製作したそうだ。

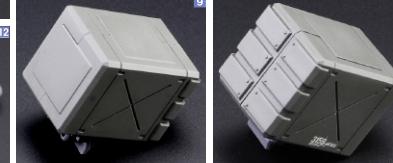


# 成林 極大なるSR魂 Ez-SR-MAXIMA



在。  
■イントルーダーのビームライフルは強力なセンサー能力の連動もあり、きわめて高い命中率を誇っていたが、マキシマの場合はこの武装に限らず、他の火器類へもそ

の恩恵は等しく与えられる。  
**II-2** 強力な相手の攻撃を受け止める防衛兵装に、精密なセンサー機能を組み込むという挑戦的な装備でもあるシールドセンサー。相反する要素を両立させているのは、もちろんSRSCメンバーの高い技術力があってこそだ。



イントルーダーとの比較。単純に3機を混ぜ合わせただけでなく、各所に新規パートが追加されていることがわかるだろう。

4 ①②③円盤状のセンサユニットとシールドセンサーで相手の情報収集を行う。センサユニット翼上部分の通信遮断子機は、相手の電子機能を一時的に低下させる効果も持つ。シールドにはマキシマを表す「MX」のマークが施されている。

■フレートアブノの大型化により、ピッチが大きくなってしまったマキシマのペドニユット。新造による性能面々々より、Ez-SRの3機が集約した証を表現したかった、とインパシ氏。

■新たな胸部装甲はEz-SRから大幅に重量バランスが変わったマキシマのカウンターウェイトとしても機能する重要なバーツだ。伝説式リカルンは銃身が頭に増えている。



①②近距離戦や格闘戦を得意とするイントルーダーのバトルスタイルは、元々シババ氏の担当機体といふこともあり、新型のマキニでも同様の姿を引き受け。主武装はビームライフルに、前腕カバーが前方にスライドして格闘戦武器となる電磁ナックル。新型サイドアーマーには予備のナックルカートリッジがマウント。

③実戦のバトルをイメージしたボージングを披露しう。エリミネーターが担当していたロングレンジでの戦闘状態。立て膝での射撃姿勢をより安定させたため専用ガードはキマにまともんだけ締め付けてある。

④⑤サクランボンの「トルルタ」は、マキニに進化したことでの変化を見せておきたいのもしない。どうもうのを一体化したことで情報収集時に立派な頭部のファーバックを省略し、ダブルに攻撃行動と移行できようにならなかったのかだ。

## 成績 極大なるSR魂 Ez-SR-MAXIMA



### Ez-SR-MAXIMA

製作次第、いつかは必ずやります。  
皆さんこんちは僕は都立成練高專の科学部部員で構成された方「ガンブラバトルチーム」に所属する「バシ・ダイゴ」と申します。この機体は先日行われた第13回ガンブラバトル選手権、西東京予選の第4試合で僕たちが使用したガンダムエースの機体を、体化させた新型機「Ez-SR MAXIMA」以下、「マキニ」といいます。

近距離戦のイントルーダー、遠距離戦のエリミネーター、情報戦のシャドウファントムの各要素を二つに分かれれば「バトル序盤」情報収集を行い、そのデータを元に遠距離からの攻撃、さらには近距離戦へと移行して戦闘を続ける「オーバーミッション」を行なうことが可能になります。

つまり「マキニは近距離をイメージソースとしてしながら、まったくの新規で構築しなければなりません」でした。そしてその製作にはエリミネーターとシャドウファントムを担当したチームメイトの「ニシカワくん」とオカゼトくんの存在が不可欠であり、ファイターとしてではなく、ビルダーとして「チームSR」という連携を行った「ガンブラ」なんですね。

同じガンブラを再び作ることは組立効率の向上こそあっても、少なからず作業感がこもってしまった「ビルダーの皆さんにそんな経験はありませんか?」このマキニの「バーツ」はEZ-SRなど基本的に同じ形状ですが、バトルではまったく違う意味をもつた新たなバーツであり、製作は非常に新鮮で刺激的なものになりました。

チームSRは事前に対戦相手の能力、戦術を読み、毎試合ガンブラを変えてバトルに臨むのが基本スタイルです。その見方次第では今まで使ってきた機体たちが、あくまでも勝利への手段でしかないと割り切っていたように思われるかも知れませんね。

でも、西の手作り上げたガンブラに愛着が湧かないビルダーなんいません。特に印象的な戦いを経た機体であれば、僕たちの最大かつ最大的心配はいたるところのEZ-SRで勝ちた今、今はその想いに満ちあふれています。



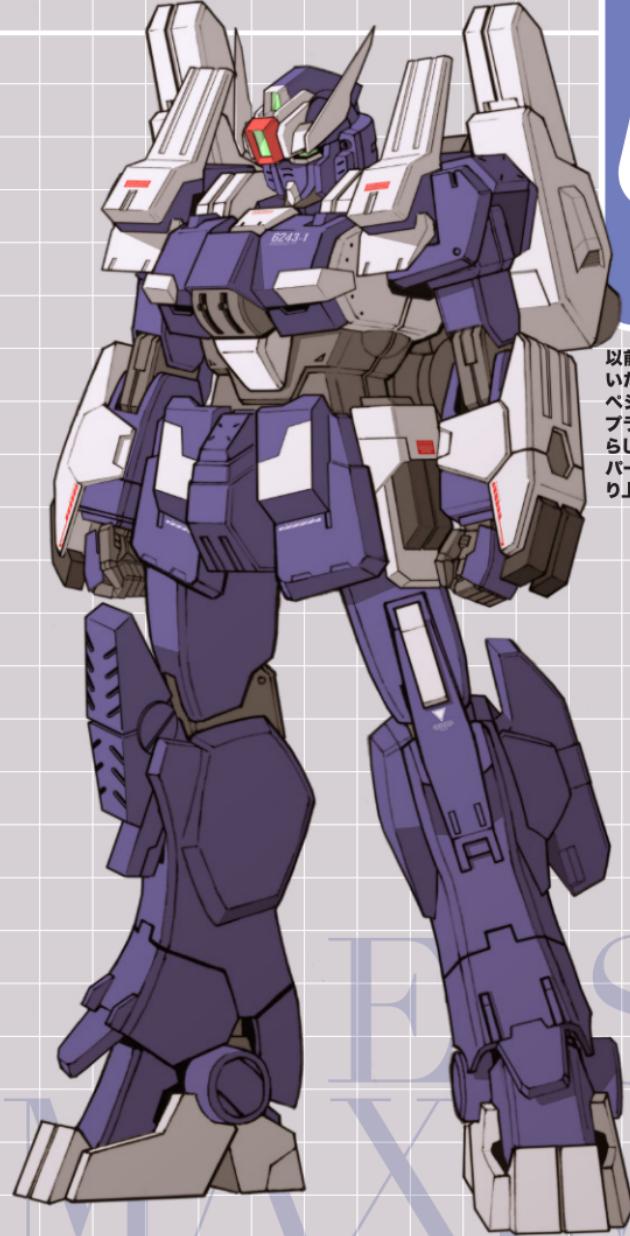
西東京予選で優勝した「マキニ」。自分への贈り物で、彼の想いを込めて。西東京予選で優勝した「マキニ」。自分への贈り物で、彼の想いを込めて。

Hobby  
HOBBY

イーブル・ロボット  
SPECIAL

Vol.10

以前からSRSCの動向に注目していたというNAOKI氏が描いたスペシャル再現設定画を掲載。ガンプラビルダーとしても活躍する氏らしく、イシバシ氏とはマキシマのパーツ構成や製作手法の話題で盛り上がっていたぞ。



SR-  
X-  
MA

メカニック・デザイナー NAOKIによる  
描き起こし『再現設定画』公開!!!